

知っておきたい 診療技術<1>

形成外科の常勤医師が2名に増員となったため、美容外来の診療枠も拡充し、しわ・たるみの治療を新たに開始しました。

しわ・たるみの治療

スキンケア

化粧品をいくつも重ねづけすると、かえって皮膚本来の水分保持力が低下し、乾燥が進んで小じわが目立つようになってしまいます。保湿に必要な最小限の化粧品を使用する方が良いでしょう。



保湿クリームや日焼け止めなどのスキンケア用品

しわ。また日焼け止めや日傘などで紫外線から肌を守ることでも大切です。形成外科ではご自宅でのお手入れに使用するホームケア用品を扱っています。

IPL (光治療)

肌を光を照射することにより、肌のハリを保つのに必要なコラーゲンの増生を促して小じわを改善します。他にも、しみ、くすみ、肌の赤み、毛穴の開きなどにも効果がある治療です。月に1回の施術を数回繰り返しますが、効果を実感された後も良い状態を維持していただくために2〜3ヶ月に1回の照射をお勧めしています。

New!! ボツリヌス療法 (ボトックス)

しわを作る筋肉に作用する薬剤を注射し筋肉の収縮を弱めることで、眉間や目尻などの表情じわが改善します。無意識に繰り返す表情の動きにより、しわは深く刻まれていきます。深いしわに定着してしまう前に治療

を始めるのが効果的です。効果の持続は4ヶ月程度ですが、定期的に行うことで若々しい印象を保つことができます。

New!! ヒアルロン酸 注入療法

ほうれい線や口もと、あごなどのしわやたるみに有効な治療です。ボリウムが減少した部分やしわにヒアルロン酸を直接注入します。骨や筋肉の萎縮、支えとなる靭帯のゆるみなどによって生じるしわやたるみは、化粧品で改善させることは難しく、ヒアルロン酸注入が適しています。効果の持続は製剤によっても異なりますが、1〜2年程度です。痛みの苦手な方には、麻酔クリームを塗布してから行います。



JA長野厚生連 長野松代総合病院 形成外科
 TEL:026-278-2031(代表)
 (お問い合わせ:平日午後3時~5時)
 美容外来(完全予約制):
 毎週水・木曜日午後、第2・4金曜日午後

(形成外科部長 宮澤季美江)



当院ではボツリヌス療法、ヒアルロン酸注入療法とも、厚生労働省の承認を受けた製剤を使用しています。カウンセリングにより患者さんのご要望に沿った治療法をご提案させていただきますが、無理に治療をお勧めすることはありません。特に注入療法は、やりすぎると「さりげない変化」くらいがちょうど良いと考えています。ご希望の方はお気軽にご相談ください。

* * *